

第2回古河市マスターズサッカー大会

1992.7.11~12



主 催
主 管
後 援
協 賛

古河市・財団法人古河市体育協会
古河市サッカー協会
朝日新聞社・日刊スポーツ新聞社
茨城県サッカー協会
アサヒビール株式会社
利根コカコーラボトリング株式会社 古河営業所

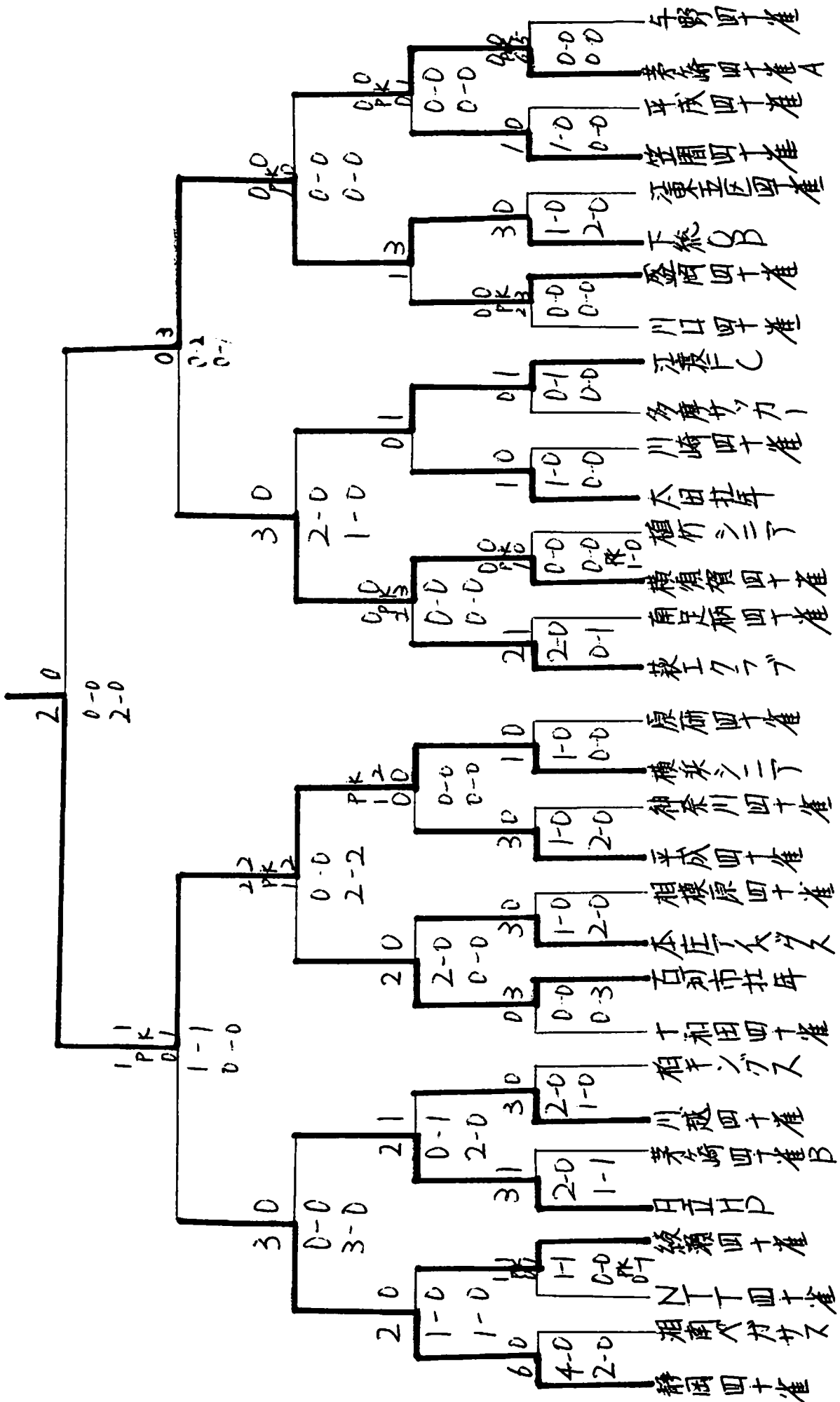
参加チーム名

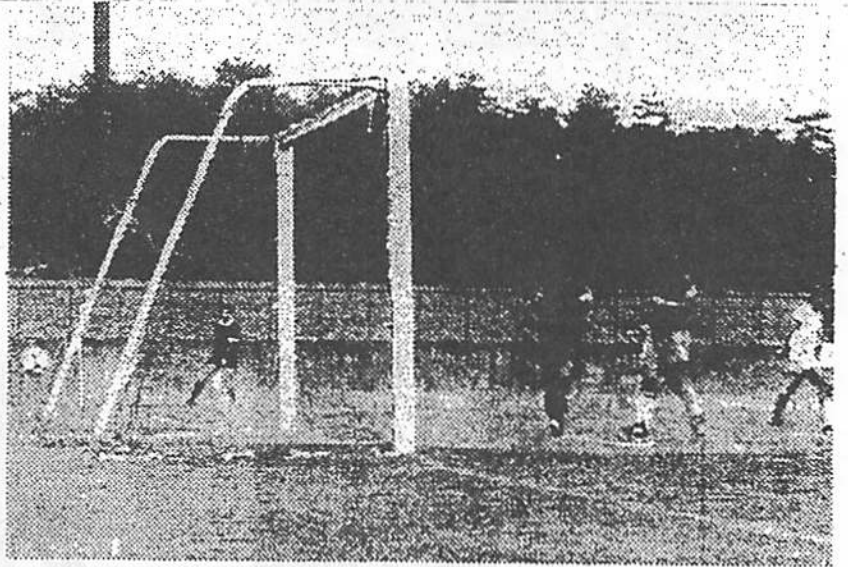
【 チャレンジ部門 】

№	県名	チ ャ レ ン ジ 部 門 名
1	青森県	江 渡 F C
2	〃	十和田四十雀サッカー
3	岩手県	盛岡四十雀サッカークラブ
4	宮城県	萩 工 ク ラ ブ
5	群馬県	太田壮年サッカークラブ
6	栃木県	平成四十雀クラブ
7	埼玉県	N T T 四十雀
8	〃	大宮植竹シニアサッカークラブ
9	〃	川口四十雀クラブ
10	〃	川越四十雀サッカークラブ
11	〃	本庄アイベックス
12	〃	与野四十雀サッカークラブ
13	東京都	江東五区四十雀
14	〃	多摩サッカークラブ
15	千葉県	柏 キ ン グ ス
16	〃	下 総 O B
17	神奈川県	綾瀬四十雀サッカークラブ
18	〃	神奈川四十雀
19	〃	川崎四十雀サッカークラブ
20	〃	相模原四十雀サッカークラブ
21	〃	湘南ベガサスサッカークラブ
22	〃	茅ヶ崎四十雀 A
23	〃	茅ヶ崎四十雀 B
24	〃	平塚四十雀 F C
25	〃	南足柄四十雀
26	〃	横須賀四十雀サッカークラブ
27	〃	横 浜 シ ニ ア
28	静岡県	静岡四十雀
29	茨城県	笠間四十雀蹴球団
30	〃	原 研 四 十 雀
31	〃	茨城日立 H P
32	〃	古河市壮年サッカー愛好会

【 エ ン ジ ョ イ 部 門 】

33	岩手県	大 船 渡 四 十 雀
34	栃木県	平成四十雀クラブ
35	〃	足利四十雀サッカークラブ
36	埼玉県	熊谷 ブ - メ ラ ン
37	〃	埼玉 パ ル ス F C
38	東京都	F C 小 金 井
39	茨城県	茨城四十雀中央
40	〃	鹿行四十雀蹴球団
41	〃	総和マスターズクラブ





横浜シニア一総OB 横浜の本田がシュート、
2点目を挙げる
=市立古河サッカー場で

古河マスターズ
サッカーVは
「横浜シニア」
第二回古河市マスターズ
サッカー大会(同市、同市

体協主催、朝日新聞社など
後援)は十二日、「8強」
が優勝を目指して熱戦を展
開、横浜シニアが下総OB
(千葉)を破り、優勝を飾
った。

出場資格四十歳以上の同
大会には、県内の三チーム
を含め四十一チームが参
加。十一、十二日の両日、
市立古河サッカー場・リバ
ーフィールド古河で激しい
戦いを繰り広げた。県内勢
は古河市社年、日立巨Pが
準々決勝に進出する活躍を
見せた。
準々決勝、準決勝ともP
K勝ちの横浜シニアは、決
勝戦では小川宏之、本田浩
志の二人がシュートを決め
るなど、実力を発揮した。
山本紘一監督は「二日間
五試合と苦しい戦いだっ
たが、楽しかったですね」と
話していた。

1992年7月13日 朝刊 茨城県版

☆☆☆ 第2回大会 写真で振り返る ☆☆☆

1992. 7. 11~12



初めての渡良瀬川河川敷、リバーフィールド古河を利用しての大会



古河体育館にて歓迎レセプション：エアロビクスと地元名産品の販売を実施



決勝は横浜シニア vs 下総 OB 激戦を制したのは・・・。



第2回大会優勝は横浜シニア（神奈川）優勝カップが贈られました